

製品名: ATE1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe04055**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.63mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 59 kDa; Observed MW: 59 kDa

抗原情報

遺伝子名	ATE1
別名	Arginyltransferase 1; R-transferase 1
遺伝子 ID	11101
SwissProt ID	O95260
免疫原	ヒト ATE1 の合成ペプチド

背景

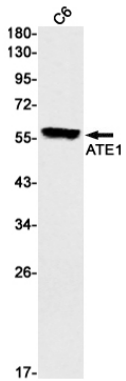
タンパク質の N 末端アスパラギン酸またはグルタミン酸へのアルギニンの翻訳後抱合に関与する。このアルギニン化は、ユビキチン

経路を介したタンパク質の分解に必要である。システイン残基はアルギニン化しない。

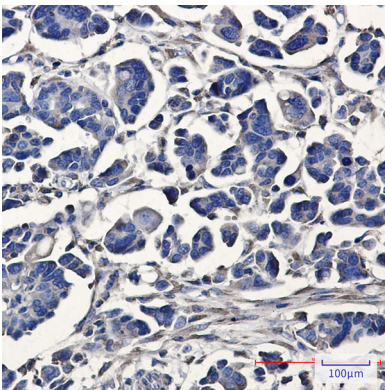
研究分野

神経科学

画像データ



ATE1 抗体を使用した C6 溶解物中の ATE1 のウェスタン ブロット分析。



ATE1 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト胆管癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。